

上記のごとく各年度ごとに増減があるものの、漸次増加の傾向にあり、これらの学校、学級、講座の重要性が認識されつつある。成人教育の重要性にかんがみ、一層の充実を図るため、多様化する学習者の欲求に対応し、地域の実情に即して成人学校・成人学級・成人講座の開設を進めるとともに、学習内容、方法を工夫改善する必要がある。

従って、今後は、成人学校、成人学級を含めて、成人大学講座の国庫補助制度の拡充を国に対して要望する。また、成人に対する学習の機会の地域較差是正を図るため、成人教育の必要性について啓発活動に努め、未開設市町村の解消を図る必要がある。なお、学習内容、方法を工夫改善するとともに、学習者の欲求等に対応した成人学校・成人学級・成人大学講座等の開設を促進する必要がある。

図3-1-6 婦人学級・婦人講座数の推移

(2) 婦人学級・婦人講座

近年、平均寿命の伸び、養育する子どもの減少等によって、婦人の生活周期にも変化がみられるようになった。

このような婦人の生活の変化に伴い、生活が多様化し、それに対処するための学習要求が高まっている。これらの婦人を対象として婦人学級・婦人講座が開設されている。

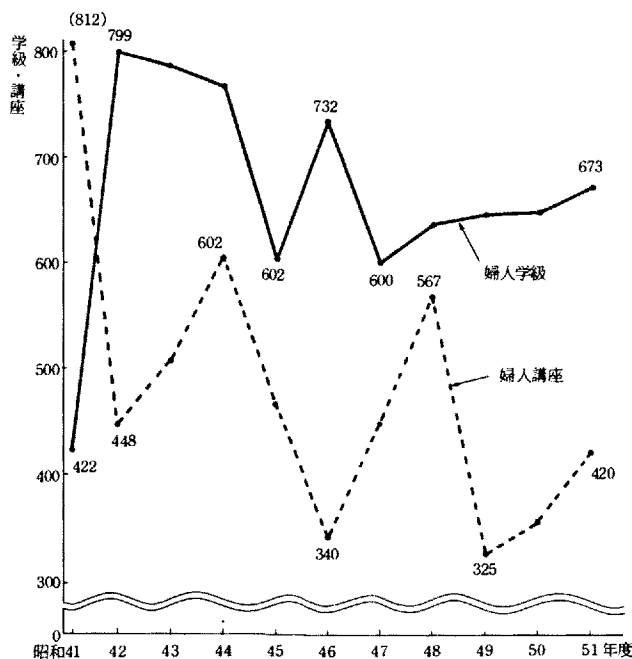
婦人学級について、昭和51年度は83市町村に673学級開設されている。

婦人学級数の推移を昭和41年度から昭和51年度までにおいてみると、図3-1-6のとおりであり、昭和51年度は昭和41年度に比べ251学級増加している。

一方、昭和51年度の婦人学級生数は28,342人である。

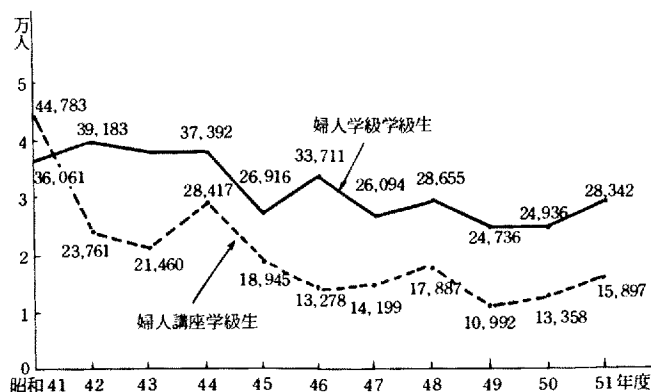
婦人学級生数の推移を、昭和41年度から昭和51年度までにおいてみると、図3-1-7のとおりである。

婦人講座について、昭和51年度は53市町村に420講座開設されている。



注：「社会教育統計要覧」(昭41～昭51)による。

図3-1-7 婦人学級・婦人講座学級生数の推移



注：「社会教育統計要覧」(昭41～昭51)による。